

# 着衣着火に注意しましょう

## 着衣着火とは

仏壇のろうそくの火やガスコンロの火が衣服などに接触し燃え移る現象です。

電気ストーブなど炎が出ていなくても衣服が触れると火がつくこともあります。

日頃から火の取り扱いに注意し、「**着衣着火**」を防ぎましょう。



## ☑着衣着火を防ぐには

- ガスコンロを使うときは袖の広い衣類を着用しない。
- ガスコンロの周りに物を置かない。
- エプロンなどは防災性能がある製品を使用する。
- ストーブを使用中は、必要以上に接近しない。
- 寝たばこは絶対にしない。



## 🔥 着衣着火してしまったら

- 火が小さいうちは、たたいて消火する。
- 慌てず、風呂や台所のくみ置きの水などで消火する。
- 近くに水がない場合は、その場に転がって消火する。
- 火傷をした場合は、救急隊の到着まで水道の流水で冷やす。
- 負傷の程度や焼損状況に関わらず 119 番通報する。



問い合わせ先

能代消防署 危険物担当 ☎ 52-3312

二ツ井消防署 危険物担当 ☎ 73-2327

三種消防署 危険物担当 ☎ 85-3100

八峰消防署 危険物担当 ☎ 76-3119